

様式第8号(第5条関係)  
(その1)



平成28年 4月19日

十和田市議会議長  
工 藤 正 廣 様

会派名 市民連合クラブ  
経理責任者 畑 山 親 弘 

平成27年度政務活動費収支報告について

十和田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、  
別紙のとおり平成27年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 27 年度政務活動費収支報告書

会 派 名    市 民 連 合 ク ラ ブ

(単位：円)

| 区 分       | 金 額       | 備 考                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 収入        | 3,780,000 | 30,000 円×11 人×6 カ月<br>30,000 円×10 人×6 カ月                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 支出        |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 調 査 研 究 費 | 2,970,730 | 7/13～14    福島県喜多方市、田村市（庁舎建築）                      368,680 円<br>7/27～29    鹿児島県日置市、玉名市（行政視察）                      1,174,480 円<br>12/15～17   長野県佐久市、白川村（行政視察）                      921,500 円<br>2/14～15    東京十和田会、千葉県野田市（行政視察）                      259,300 円<br>3/28～30    東京小沢事務所陳情、静岡県熱海市、浜松市（行政視察） 246,770 円 |
| 研 修 費     | 200,000   | 7/15    林活議員連盟（岩手県紫波町）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 広 報 費     | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 広 聴 費     | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 要請・陳情活動費  | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 会 議 費     | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 資 料 作 成 費 | 5,580     | 資料作成時ゼロックス使用料    558 枚×10 円＝5,580 円                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 資 料 購 入 費 | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 人 件 費     | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 事 務 所 費   | 0         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 合 計       | 3,176,310 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 残額        | 603,690   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

（注） 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政 務 活 動 報 告 書

[illegible]

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

免震構造は、建物と基礎の間に揺層工を設け、地震の際に免震層で設計。地震時の水平変位を直接建築物に伝わり、ゆがみを生じ、その結果の免震装置は設置し、地震の際に大地震の時に市庁、病院、学校、防衛施設、災害対策の拠点として活用する。

林信内様、お母 紫波町の八百才マス 工場に a 信印に付く  
紫波町、新庁舎を中心として 国第 a 部外に 電車部、近きもので  
地域に 紫波町がある。 寺崎に 紫波町、また 理起の部  
系、ものあり。

黃熱河經場 以內為新地 凡此民間住宅以黃熱土  
子人 費 土 子 新 地 土 子 人

詳い材料5の中心にあり、両端にあり、八分厚の板  
2枚、裏面に巻いておく。図に示す。

# 政 務 活 動 報 告 書

|                   |                                                                      |            |          |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------|------------|----------|
| 会派名               | 市民連合クラブ                                                              |            |          |
| 活 動 議 員 名 (取扱議員名) |                                                                      |            |          |
| 豊川 麻 希            | 今泉 裕 博                                                               | 戸 来 伝      |          |
| 松田 博 幸            | 久慈 昌 和                                                               | 赤 石 健 美    |          |
| 田中 重 光            |                                                                      | 畑 山 親 弘    |          |
| 区 分               |                                                                      |            | 合計金額     |
| 1 調査研究費           | 2 研 修 費                                                              | 3 広 報 費    | 4 広 聴 費  |
| 5 要請・陳情活動         | 6 会 議 費                                                              | 7 資料作成費    | 8 資料購入費  |
| 9 人 件 費           | 10 事務所費                                                              | ※該当する区分に〇印 |          |
|                   |                                                                      |            | 1174,480 |
| 期 間<br>(年月日)      | 27年7月27日 ~ 27年7月27日 (2泊3日)                                           |            |          |
| 支出目的<br>(支出理由)    | 鹿児島県日置市と薩摩川内郡との合併に反対しているため<br>熊本県玉名市で両市町の合併に反対する市民連合を組織し<br>12月22日開催 |            |          |
| 用 務 先<br>(支払先)    | 鹿児島県 日置市<br>熊本県 玉名市                                                  |            |          |
| 内容及び成果            | 詳細については別添にあります。                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |
|                   |                                                                      |            |          |

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。



画にもある、新幹線が二つのポイントに達する、部  
での新幹線建設計画、その二つの調査研究があること  
になる。

## ○内容及び成果

### 1) 鹿児島県日置市の原子力対策

市内原子力は、計画（建設する）という現状の中、先市鹿児島県の  
防災計画（原子力編）により、計画原子力で見えられた緊急時  
防護措置を準備する場所、51km<sup>2</sup>~30km<sup>2</sup>（圏内（UPZ））に  
収容する、1125世帯、26901人、日置市の人口の50%  
が入る。このように、この原子力対策を計画に計画  
されている。

例として、このように、緊急時防護措置計画、2029年  
の45ヶ所（原子力）に建設されている。また、原子力  
の危険性、このように、外部リスク、内部リスク、この  
や放射能のリスク、放射性物質のリスク、放射能の  
有害な点、自衛で対応している。このように、防災計画  
にこのように、このように、このように、このように、  
このように、このように、このように、このように、  
このように、このように、このように、このように、

以上のことから、計画には、計画原子力災害編は  
計画から計画にある。この計画は、計画原子力災害編は  
計画にある。このように、このように、このように、  
このように、このように、このように、このように、  
このように、このように、このように、このように、



政 務 活 動 報 告 書

[illegible]

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。



# 政 務 活 動 報 告 書

|                                             |                                                                                                                  |            |         |
|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|
| 会派名                                         |                                                                                                                  | 市議会 277    |         |
| 活 動 議 員 名 (取扱議員名)                           |                                                                                                                  |            |         |
| 豊川 泰平                                       | 今泉 勝博                                                                                                            | 中島 勝昭      |         |
| 久慈 正弘                                       | 如山 親弘                                                                                                            | 工藤 正彦      |         |
| 区 分                                         |                                                                                                                  |            | 合計金額    |
| ① 調査研究費                                     | 2 研 修 費                                                                                                          | 3 広 報 費    | 4 広 聴 費 |
| 5 要請・陳情活動                                   | 6 会 議 費                                                                                                          | 7 資料作成費    | 8 資料購入費 |
| 9 人 件 費                                     | 10 事務所費                                                                                                          | ※該当する区分に〇印 |         |
|                                             |                                                                                                                  |            | 259,200 |
| 期 間<br>(年月日)                                | 28年2月14日 ~ 28年2月15日 (1泊2日)                                                                                       |            |         |
| 支出目的<br>(支出理由)                              | 2/14日頃の東京市議会議員会及び交流会に参加する為に2/15日市公営住宅の案内実地について調査研修する                                                             |            |         |
| 用 務 先<br>(支払先)                              | 東京都千代田区千代田市役所 市議会事務局                                                                                             |            |         |
| 内容及び成果                                      | <p>○ 2月12日開催の東京市議会議員会に豊川議員に代わり市議会事務局の代表として参加し、多岐にわたる交流を行った。</p> <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p> |            |         |
|                                             | <p>○ 2月15日千代田市公営住宅案内実地を行った。</p> <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p>                                 |            |         |
|                                             | <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p> <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p>                |            |         |
|                                             | <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p> <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p>                |            |         |
|                                             | <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p> <p>○ 市公営住宅の案内実地では、市議会の議員会館の案内係として参加し、交流を行った。</p>                |            |         |
| <p>このように2月14日、15日の2日間、千代田市公営住宅案内実地を行った。</p> |                                                                                                                  |            |         |

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。



政 務 活 動 報 告 書

|                   |                                                 |            |         |          |
|-------------------|-------------------------------------------------|------------|---------|----------|
| 会派名               | 市民連合クラブ                                         |            |         |          |
| 活 動 議 員 名 (取扱議員名) |                                                 |            |         |          |
| 戸 来 伝             |                                                 | 田 中 重 光    |         | 野 月 忠 見  |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
| 区 分               |                                                 |            |         | 合計金額     |
| ① 調査研究費           | 2 研 修 費                                         | 3 広 報 費    | 4 広 聴 費 |          |
| ⑤ 要請・陳情活動         | 6 会 議 費                                         | 7 資料作成費    | 8 資料購入費 | 246,770円 |
| 9 人 件 費           | 10 事務所費                                         | ※該当する区分に○印 |         |          |
| 期 間<br>(年月日)      | 平成28年3月28日 ～ 平成28年3月30日 (2泊3日)                  |            |         |          |
| 支出目的<br>(支出理由)    | ・ テレトラック十和田に日本中央競馬会の場外馬券発売所を設置することの陳情           |            |         |          |
|                   | ・ ウナギ養殖から食事提供・販売までの取り組みについて                     |            |         |          |
|                   | ・ 観光まちづくり、リノベーションまちづくりによる中心市街地再生について            |            |         |          |
| 用 務 先<br>(支払先)    | 3/28小沢一郎代議士、3/29天保養魚場、3/30NPO法人 a t a m i s t a |            |         |          |
| 内容及び成果            | 別紙のとおり                                          |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |
|                   |                                                 |            |         |          |

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

## 政務活動報告書 別紙

平成28年3月28日（月）

生活の党 小沢一郎代議士に陳情

### 陳情の内容

日本中央競馬会の場外馬券発売所が、テトラック十和田に設置されることを望むもの

### 現状

テトラック十和田には岩手県競馬組合の場外勝馬投票券発売所が設置されているが、当該組合の経営状況の悪化により、総売得金の一部を十和田市に納付することができない状況が続いている。

これを改善するにはテトラック十和田への来場者数増加が最大の課題であり、日本中央競馬会場外馬券発売所が設置されることが極めて効果的であることから陳情を行った。

### 結果

小沢一郎代議士に直接陳情した。平成28年4月13日に小沢代議士が達増岩手県知事と面会する予定であり、その際に話題にするとのこと。また、岩手県競馬組合側は日本中央競馬会の進出が、岩手県競馬組合の売り上げ減少に作用するとの認識を持っているとのことから、その認識を払拭して誘致になるよう話したいとのこと。

平成28年3月29日（火）

浜名湖自鰻 天保養魚場

浜名湖周辺は水源が豊富で稚魚がたくさん捕れたことから、明治30年頃うなぎ養殖が盛んになり、戦争の影響で一時衰退したものの浜名湖養魚漁業協同組合を設立し餌の共同購入、販路拡大を行い昭和30年代から再び養殖が盛んになり、昭和40年代には約450件以上の養鰻場が林立していたとのこと。また、いち早くハウス養鰻にも取り組み、早期に良いうなぎの生産ができるよう研究した結果、名実ともに日本一の産地となったとのこと。

その後、うなぎの稚魚が捕れなくなり、苦肉の策でフランスウナギを輸入しましたが病気の大発生により、壊滅的な打撃を受けたことや安価なうなぎの大量輸入により、廃業者が増え現在は28経営体で、生産量は全国4位とのことでした。

一般的にうなぎの養殖には、加温養殖（池に上屋を掛けた上で、重油ボイラーによる加温を行う）と温泉養殖（地下の温水をポンプアップし使用）が行われています。今回は、焼山地区の活性化に向け、温泉利用の可能性を探る観点で調査視察を行ったが、水質による病気の発生など、一朝一夕にはいかな

平成28年3月30日（水）

NPO法人 atamista（アタミスタ）

古代から温泉地として知られ、日本中から新婚旅行者や社員旅行者が訪れ賑わった熱海ですが、他の観光地と同じく来訪者の減少が見られ、飲食・宿泊などの観光関連産業は大きな打撃を受けているとのこと。しかし、働き盛りの30歳台が流出する一方で、定年後の安住の地を求める首都圏のシルバー世代などが流入するなどの動きも見られるとのこと。

NPO法人 a t a m i s t a は、ふるさと熱海を愛する人を掘り起し、人を繋げてまちを再生することに取り掛かり、目指すものは単なる観光振興ではなく、熱海に住む人と訪れる人とが結びついたまちづくりであり、その手法がオンたま（熱海温泉玉手箱）とのこと。

オンたまは数百円から2千円、3千円程度の多彩な体験交流プログラムで、参加者は昔から熱海に住む人、転入者、来訪者など熱海に縁を持つ人々と、そこからロコミなどでつながってきた人たちです。熱海というまちに何があるのか、どんな人がいるのか知り、オンたまの参加者同士でその感動や感想を共有する。参加者はもっと熱海を知りたくなり、また知らせたくなる。

熱海再生に必要なことは、熱海を理解し愛着を持ち、自分も何かしたいと願う人財であり、オンたまは個々のプログラムを成功させるだけではなく、その先にある地域の人を繋げるという目的の第一歩であるとのことでした。

研修当日は40分間ほど座学で説明を受け、その後1時間ほど熱海のまち歩きをしながら説明を受けました。熱海は新幹線が通っており、かつて500万人あった来訪者は現在300万人程度とのこと。それでも熱海は一級の観光地であり、平日でも人が溢れていた。空き店舗は無数にあり、建物も古いいため、まちなみ整備の必要を感じているとのことでした。

当市の焼山と熱海を比べるのはあまりにも酷な話だが、単にハード面に頼った観光振興ではなく、人財の掘り起しに着目している点は非常に興味深いものがあった。